

## ホンダコレクションホール リニューアルオープン

創業からの時代を追った展示に一新し、  
Hondaの“夢と挑戦の物語”を体感できる施設へ

モビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）にあるHondaの歴史を伝える施設「ホンダコレクションホール（以下、コレクションホール）」が2024年3月1日（金）にリニューアルオープンします。



ホンダコレクションホール公式サイト <https://www.mr-motegi.jp/collection-hall/>

コレクションホールは、Hondaの創業50周年を記念し、Hondaの原点をお客様に伝える施設として1998年3月に設立されました。クルマやバイク、パワープロダクツなどの製品やレーシングマシンを展示し、昨年25周年を迎えました。

今回のリニューアルでは、Hondaが紡いできた「夢と挑戦の物語」を体感できる展示へと進化させました。創業以来の軌跡を記したパネルを各階に設置し、音声ガイドやスタッフによるツアーとあわせて、Hondaのフィロソフィーや歴史を視覚・聴覚で体感いただけるようにしました。

また1階のエントランス正面には、小型ビジネスジェット機の「HondaJet Elite II」の実物大インテリアモックアップモデルを展示し、機内への乗り込みをお楽しみいただけます。また、最新のパーソナルモビリティ「UNI-ONE」の試乗体験など、Hondaのモビリティに実際に触れられる展示を新たに追加しました。

なお、モビリティリゾートもてぎは、同3月1日（金）から着座型ハンズフリーモビリティ「UNI-ONE」を活用した新アクティビティ「進林探検！UNI-ONE」がスタート、3月8日（金）からは新アトラクション「空のアスレチックひろばKONOMI」のオープンを予定しています。コレクションホールのリニューアルとあわせて、子どもから大人まで家族で楽しめる春のモビリティリゾートもてぎにご期待ください。

**【リニューアル概要】**

**■ 製品展示コーナー（常設展）**

製品展示コーナーでは、時代毎にフロアを4つに分け、その時代の特徴をわかりやすく展示しています。二輪車、四輪車、パワープロダクト、HondaJetとHondaの幅広い製品や、レーシングマシンの展示に加え、新たに音声ストーリーガイドを用意。自身のスマートフォン、もしくは、貸出用の機器で二次元コードを読み込むことで、Hondaの「夢と挑戦の物語」をお楽しみいただけます。また、HondaJet Elite II の実物大インテリアモックアップモデルへの乗り込みやUNI-ONEの試乗体験など、Hondaのモビリティに触れて体感できる展示も追加しています。

**【2階南棟 -創業～1970年前後-】**

**「みんなを喜ばせたい」「技術力で世界に挑戦する」という想いから始まった情熱の時代**

2階の南フロアでは、Hondaの創業期の夢と挑戦の物語をご覧ください。浜松の小さな町工場で開発した自転車用補助エンジンから始まり、汎用事業開始、マン島TTレースへの出場、スーパーカブの発売、F1<sup>\*1</sup>初参戦など、Hondaの幕開けの時代をご紹介します。

**【2階北棟 -1970年前後～1985年前後-】**

**創業時からの挑戦が花開き、本田宗一郎の想いを受け継ぐ新たな世代が躍動した時代**

2階の北フロアでは、四輪市場への本格的な参入を果たし、F1に再び挑戦し勝利を重ねたHondaの時代を彩る製品・マシンを展示しています。初代CIVICやCVCCエンジン、二輪のロードレース世界選手権<sup>\*2</sup>やF1第2期<sup>\*3</sup>に参戦したレーシングマシンなどをご覧ください。

**【3階南棟 -1985年前後～2000年代-】**

**一人ひとりの熱い夢や想いを積み上げながら、新しい価値を創造していった時代**

3階の南フロアでは、新しい製品が次々と誕生した時代の裏側にあった、壁や逆境に立ち向かう挑戦の物語を紹介しています。Honda初の3ナンバーサイズセダンであるレジェンドや、新世代スポーツカーとして登場したNSXの開発の裏にある物語を紹介しています。

**【3階北棟 - 2000年代～-】**

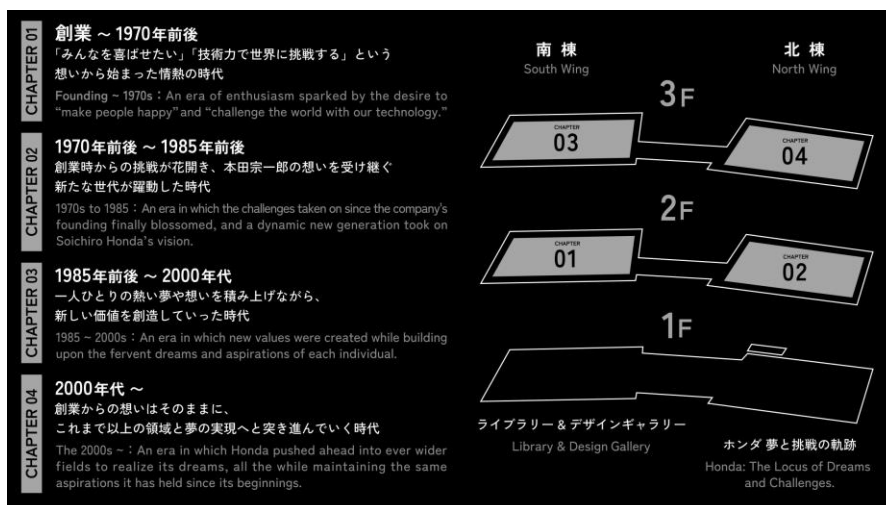
**創業からの想いはそのままに、これまで以上の領域と夢の実現へと突き進んだ時代**

3階の北フロアでは、ASIMOなどロボティクス技術の研究開発や、航空機の世界への新規参入など、Hondaの新たな価値創造への挑戦の物語を紹介しています。創業からの想いはそのままに、領域を広げ、夢の実現へと突き進んでいくHondaの挑戦をご覧ください。

※1 FIAフォーミュラ・ワン世界選手権、FIAはFédération Internationale de l'Automobile（国際自動車連盟）の略称

※2 FIMロードレース世界選手権、FIMはFédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※3 1983年～1992年、エンジンサプライヤーとしてF1に参戦した時代



## ■ガレージコレクション（企画展）

コレクションホールでは、年間3回、「ガレージコレクション」と称し、常設展では展示しきれない製品を蔵出しし、2階・3階の渡り廊下にて展示します。リニューアルにあわせ、3月1日（金）より、歴代CBシリーズを一挙に公開する「CBヒストリー Part1」企画展を開始します。

### ・【ホンダコレクションホール リニューアル記念】

#### CBヒストリー Part1 スーパースポーツバイクの先駆車たち

開催日時：2024年3月1日（金）～6月30日（日）

展示概要：CBの誕生から、“ナナハン”の語源となった「ドリームCB750FOUR」登場までの歴史を展示車とともに紹介します。また、CBと同じく1950～1960年代に活躍したドイツ、イギリス、イタリアのスポーツバイクも多数展示予定です。

### ・レーサーレプリカ特集 Part1 ワークスレーサーの血統 NSR250R

開催日時：2024年7月6日（土）～10月14日（月・祝）

展示概要：1980年代から始まった二輪車のレーサーレプリカブームを特集します。Part1となる今回は、2ストロークエンジンを搭載したバイクにスポットを当て、コレクションホールが所蔵するNS、NSRシリーズを全て展示します。

### ・ゴールドウイング誕生50周年記念展示&S2000誕生25周年記念展示及びオープンカー特集

開催日時：2024年10月19日（土）～2025年3月9日（日）

展示概要：大型プレミアムツアラー「Gold Wing（ゴールドウイング）」の誕生50周年を記念し、歴代モデルを展示します。皇宮仕様車やゴールドウイングをベースとした大型アメリカンカスタムバイク「VALKYRIE（ワルキューレ）」など、これまで展示機会が少なかったバイクも登場。あわせて、リアルオープンスポーツカー「S2000」の誕生25周年を記念し、S2000の生産第一号車や国内外のオープンカーを展示予定です。

## ■ライブラリー&デザインギャラリー

開かれたコミュニティの場として活用できる「ライブラリー&デザインギャラリー」を新たに設けました。ライブラリーは、さまざまな二輪車・四輪車に関する雑誌を見ながら休憩スペースとして利用いただけるだけでなく、ワークショップスペースとしても活用することが可能です。デザインギャラリーには、Hondaのデザイナーが描いた製品のデザインスケッチや、Hondaのモビリティのアート作品が展示されています。

## ■ 楽曲

新進気鋭の作曲家、久保田千陽氏によって制作され、インストゥルメンタル<sup>※5</sup>の音楽グループ「JPCO(Japan Popular Classics Orchestra)」が演奏したオリジナル楽曲を、各フロアの背景音楽（BGM）として再生しています。時代に沿った4つのテーマからなるコレクションホールオリジナルサウンドをお楽しみください。



©SENYO MUSIC MANAGEMENT

※5 音楽における一つの形式。歌詞を伴わない、楽器のみで演奏される音楽を指す

## ホンダコレクションホール 概要

- 住所 栃木県芳賀郡茂木町大字檜山 モビリティリゾートもてぎ内
- 時間 10:00～16:30 （季節・曜日により異なる）
- 料金 無料（別途モビリティリゾートもてぎの入場料・駐車料が必要）
- WEBサイト <https://www.mr-motegi.jp/collection-hall/>